



# 只見町ブナセンターだより

夏休みに遊びにきてね!

No. 3 / 2010年7月16日発行

## ●第6回ブナセンター講座（野外）

### ホタル観察会

只見では、いまゲンジボタルとヘイケボタルの両方が飛んでいます。一匹のホタルが成虫になって夜空を舞う期間は、わずか1週間です。そのあいだに、水は飲みますが、食事はしません。大人になると口が退化してしまうのです。



ヘイケボタル（撮影／今井初太郎さん）

講師：高原豊さん（財団法人自然保護協会自然観察指導員）＋福島生き物探検隊のみなさん

日時：7月17日（土）午後7時30分～午後8時30分

集合：ただみ・ブナと川のミュージアム（車を乗り合わせて5分ほど移動します）

服装：長ズボン、長ぐつ、虫よけ

草むらにマムシがいるかもしれないのでサンダルなど裸足はやめましょう

定員：20名 費用：無料 前号で入館料＋保険代と紹介しましたが変更になりました

※小雨決定。大雨の場合は中止

## ●第7回ブナセンター講座（野外）

### わくわく昆虫採集教室

講師：今井初太郎さん 昆虫写真家

自分でみつけた昆虫について図鑑でしらべたり、昆虫標本の作り方をおしえるよ。午前中は、野外での昆虫採集と名前しらべ。お弁当をたべて午後から、アカトンボの見分け方。むしの見つけ方、飼い方。カブトムシやオオムラサキの生活史。そして昆虫標本の作り方。教えてくれる今井初太郎さんは、虫が大好きで全国をとびまわっている楽しい先生だ。



カブトムシ（撮影／今井初太郎さん）

日時:8月5日(木) 午前9時30分～午後3時  
場所:ただみ・ブナと川のミュージアム  
持ち物:お弁当、虫あみ、虫かご  
定員:25名 対象:小学校高学年以上  
費用:入館料(小中学生200円)+保険料  
申込:事前に只見町ブナセンターへ  
☎0241(72)8355でお申し込みください  
※雨天は館内で今井さんと虫の話をしましょう

#### 【プログラム】

9:30 昆虫採集の注意事項  
9:45 昆虫採集  
12:00～13:00 昼食(弁当持参)  
13:00 名前しらべ、標本の作り方  
14:00 昆虫のお話と質問タイム  
15:00 終了

### ●第8回ブナセンター講座(野外)

## 親子自然教室・恵みの森

講師:ただみ自然案内人の会

恵みの森を流れる大滝沢は約4kmにおよぶ一枚岩の沢で、長ぐつをはいてジャブジャブと歩きます。暑い盛りなので水遊びのできる服装でおいでください。

楽しく歩きながらまわりの森をながめると、たくさんの植物や動物、昆虫、魚、鳥、そしてもっと小さな生き物たちが暮らしています。「これは、なんだろう?」と不思議に思うことがあったら自然案内人に気軽に質問してください。

日時:8月8日(日) 午前9時30分～午後3時  
集合:森林の分枝ふざわ☎0241(71)9511  
場所:恵みの森  
持ち物:長ぐつ、レインウエア、帽子、虫よけ、お弁当、敷き物、着替え

対象:小学生以上の親子(大人のみ参加もOKです)  
定員:30組 費用:1組1000円(保険料込み)  
申込:事前に只見町ブナセンター☎0241(72)8355へお申し込みください  
※雨天は癒しの森などに変更します



恵みの森の下滝

#### 【プログラム】

9:30 森林の分枝ふざわ集合  
車で15分の移動  
9:45 恵みの森入り口出発  
10:45 下滝  
11:45 中滝  
12:00 癒しのブナ平でお弁当  
12:45 出発  
14:45 恵みの森入り口  
15:00 分枝にて解散

### ●第9回ブナセンター講座(野外)

## 田子倉湖ブナ探検隊

モーターボートに乗って田子倉湖から山々を眺めると、雪崩によって浸食された只見の地形がよくわかります。ブナはどんな場所に生えるのか、探してみましょ。また、50年前にダムに沈んだ田子倉の集落について、昔の暮らしぶりなどをお話します。

日時:9月25日(土) 費用:実費(ボート代+保険代)  
詳しくは次号で紹介します。お問い合わせは只見町ブナセンター☎0241(72)8355

【ただみ・ブナと川のミュージアム特別展示】

# 只見と世界の昆虫展

日程:7月21日(水)~9月26日(日)

会場:ただみ・ブナと川のミュージアム「2階ギャラリー」

入館料:大人300円、小中学生200円

只見町小林出身の角田亘さんが、町内で採取した昆虫標本およそ2000種を大公開。オオクワガタ、ギフチョウ、オオムラサキなどの人気者をはじめ、カMEMシやアブなどの嫌われ者まで大集合。

もう1つの見どころは、元、森林総合研究所の楨原寛さんが採集した世界の昆虫標本です。世界最大級のセミや変わった形の甲虫、そしてカミキリムシの仲間を展示します。また、ナラ枯の仕組みについてもわかりやすく説明します。犯人はカシノナガキクイムシです。



アブラゼミ



ヒメボタル



ノコギリクワガタ

お問い合わせは只見町ブナセンター ☎0241(72)8355

## ●スタッフ奮闘記

■奥会津広域観光事業の一環で只見町のCMをブナセンターで担当しました。7月下旬に福島テレビと新潟総合テレビで放送されます。撮影は、恵みの森の下滝でおこなわれました。沢のなかを歩くので、大切なカメラ機材を落とさないようにドキドキです。さらに雷が鳴りはじめて、冷や冷やしました。みんなで協力して制作しましたので、ぜひ見てください。ブログでも紹介しています。



# ホタルの恋は1週間

ホタルは国内に20種類ほどいますが、幼虫のときに水中で生活するのはゲンジボタルとヘイケボタルの2種類です。只見には両方います。水辺にホタルが飛ぶ光景は、日本ではあたりまえですが、世界ではとてもめずらしいことです。

## 【ゲンジとヘイケの見分け方】

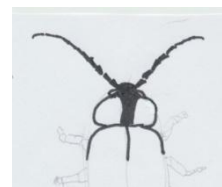
ヒント1 ゲンジの方が大きい

ヒント2 ゲンジはピーカピーカ。ヘイケはピラピラピラ

ヒント3 ゲンジは串ダンゴ、ヘイケはようかん



ゲンジボタル



ヘイケボタル

## 【どこで見つかるの？】

ゲンジは水路など流れのあるところ。ヘイケは田んぼなど流れのないところ。

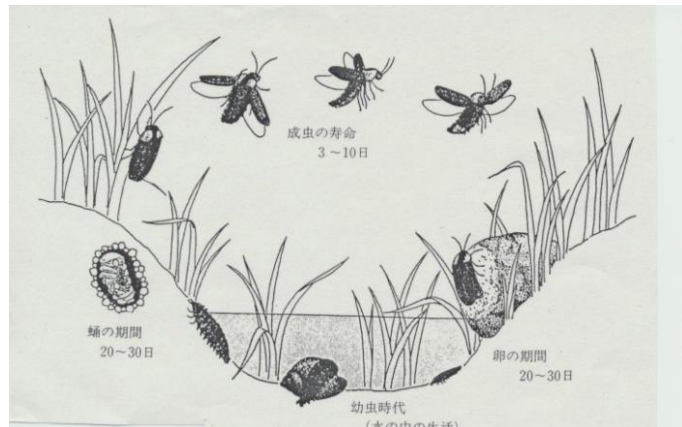
## 【なんで光るの？】

ホタルはオスもメスも光ります。相手を呼び合って、気が合えば交尾をして卵を産みます。

## 【生活史】

水辺のコケなどに産みつけられた卵からかえった幼虫は水中で暮らし、巻貝を食べて育ちます。成長すると、上陸して土にもぐってサナギになります。

羽化した成虫の寿命は1週間ほど。相手を見つけ卵を産むと死んでしまいます。そのあいだ、水は飲みますが、何もたべません。



自然の中でのヘイケボタルの一生『ホタルの飼い方と観察』大場信義著より

## 【観察マナー】

LEDライトなどの強い明かりは、ホタルへ悪影響が心配されています。ホタルをみつけたら明かりを消して暗闇に目を慣らした方が、ホタルの小さな光がよく見えますよ。

## 只見町ブナセンター

Tel **0241 (72) 8355** fax0241 (72) 8356  
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下  
2590 番地「ただみ・ブナと川のミュージアム」内  
HP <http://www.tadami.gr.jp/kankou/buna/buna.htm>  
ブログ <http://tadamibuna.blog2.fc2.com/>  
E-mail [info-buna@amail.plala.or.jp](mailto:info-buna@amail.plala.or.jp)

**只見町 MAP**

# 参加申込書

●第7回ブナセンター講座（野外）

## わくわく昆虫採集教室

8月5日(木) 午前9時30分～午後3時

氏名	住所	年齢

合計 人 / 代表者名と電話番号

●第8回ブナセンター講座（野外）

## 親子自然教室・恵みの森

8月8日(日) 午前9時30分～午後3時

氏名	住所	年齢

合計 人 / 代表者名と電話番号



**只見町ブナセンター**

**TEL 0241(72)8355**

**FAX 0241(72)8356**

参加ご希望の方は事前にブナセンターへお申込みください。申込書をご持参いただくか、FAXや電話、Eメール [info-buna@amail.plala.or.jp](mailto:info-buna@amail.plala.or.jp) でご連絡ください。お待ちしております。